

# 基幹統計報告データ入力プログラム

# オペレーションマニュアル

平成25年7月

## 目次

1	動作環境.....	1
2	インストール・アンインストール作業.....	1
2.1	インストール作業.....	1
2.2	アンインストール手順.....	2
3	初期設定.....	2
3.1	環境設定.....	2
3.2	基本情報設定.....	2
4	操作方法.....	3
4.1	メイン画面.....	3
4.2	補助機能画面.....	6
4.3	環境設定画面.....	9
4.4	基本情報設定画面.....	11
4.5	調査票入力画面.....	14
4.6	マスタ参照画面について.....	17
4.7	論理エラーチェックについて.....	18
4.8	入力規約.....	23

## 1 動作環境

基幹統計報告データ入力プログラムの動作には以下の環境が必要です。

- Microsoft Windows '95(OSR2.5)以上

## 2 インストール・アンインストール作業

### 2.1 インストール作業

プログラムが格納されたファイルを、石油情報報告に関する情報発信サイトよりダウンロードして、ハードディスクにインストールします。

- ① 石油情報報告に関する情報発信サイトより 新規インストール用のプログラム「[setup 基幹統計入力.exe](#)」をダウンロードします。
- ② ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。
- ③ インストールプログラムが起動します。画面に表示される説明にしたがって操作して下さい。

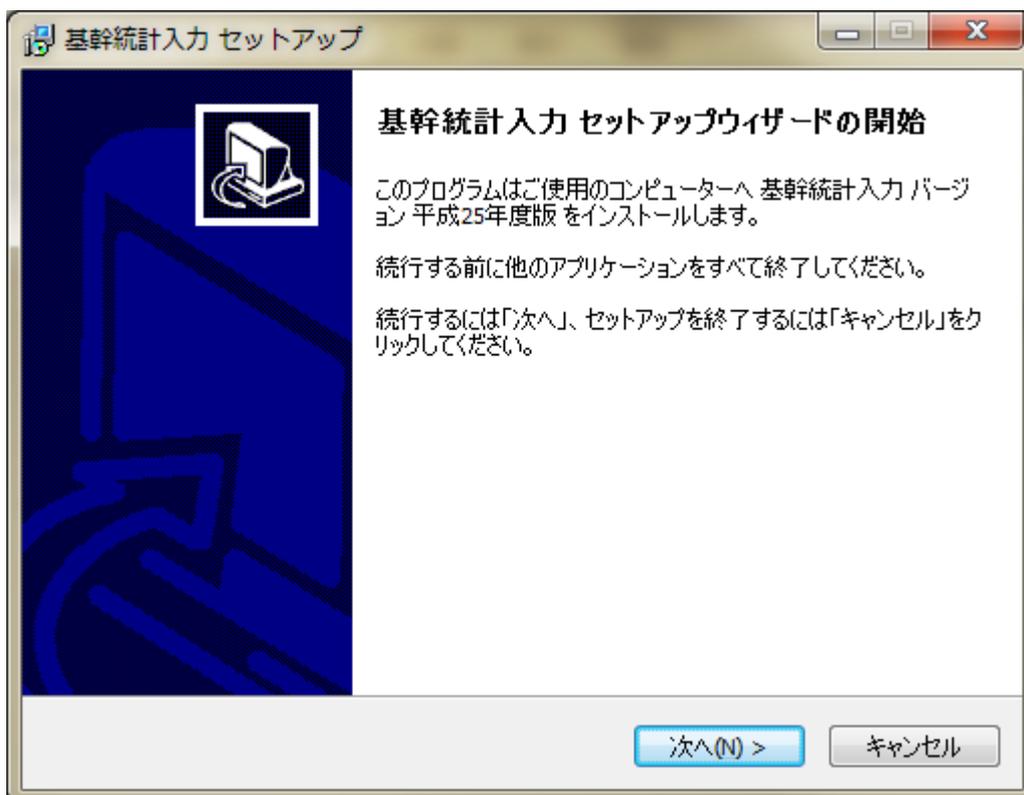


図 2.1 基幹統計インストールプログラム

- ④ 「新・基幹統計報告データ入力プログラム」がインストールされます。

## 2.2 アンインストール手順

PCにインストールされた「新・基幹統計報告データ入力プログラム」を削除し、導入前の状態に戻します。

「新・基幹統計報告データ入力プログラム」を終了します。

「スタート」ボタンから「すべてのプログラム」を開きます。

「報告データ入力プログラム」を選択し、「基幹統計入力」から「新・基幹統計報告データ入力プログラムをアンインストールする」をクリックします。

アンインストールプログラムが起動します。画面に表示される説明にしたがって操作して下さい。

## 3 初期設定

本プログラムを最初に起動した際には、初期設定を行う必要があります。次の2つの情報を設定してください。

### 3.1 環境設定

「環境設定」画面より入力してください。(4.3 環境設定画面参照)

### 3.2 基本情報設定

「基本情報設定」画面より入力してください。(4.4 基本情報設定画面参照)

初期設定を行わないと上記2つの機能以外は使用できません。

次回起動時からは、設定する必要はありません。ただし、コードマスタファイルの場所を移動した場合、又はフォルダ名の変更を行った場合には再度設定を行う必要があります。

## 4 操作方法

### ● 起動方法

スタートボタンより

すべてのプログラム ⇒ 報告データ入力プログラム ⇒ 基幹統計入力 ⇒  
新・基幹統計報告データ入力プログラム を選択してください。

プログラムが起動し、メイン画面が表示されます。

### 4.1 メイン画面

使用するファイル格納フォルダ  
データ格納フォルダ\* : C:\\*報告データ入力プログラム\*基幹統計入力  
コードマスタファイル格納フォルダ\* : C:\\*報告データ入力プログラム\*#\*常時データ入力プログラム用マスタ

報告者基本情報

本社情報

企業コード\* : 001  
企業名\* : J P E C石油 (株)  
郵便番号 : 105-0001  
電話番号 : 03-5402-8507  
住所 : 東京都虎ノ門4-3-9

事業所情報

事業所コード\* : 501  
事業所名\* : 本社  
郵便番号 :  
電話番号 :  
住所 :  
作成者所属部署名・氏名:  
申告義務者氏名 :  
経済産業省事業所番号\* : 9999999999

ファイル作成対象年月: 2011 年 2 月 記入年月日 2011 年 3 月 23 日

調査票 (その1~その3)

: 新規作成  : 修正・閲覧 参照ファイル対象年月 [ ] 調査票(その1~3): 表示

調査票 (その4)

: 新規作成  : 修正・閲覧 参照ファイル対象年月 [ ] 調査票(その4): 表示

各項目を設定してください。\*印は必須項目です  
「ファイル格納フォルダ」及び「報告者基本情報」の初期設定、変更は[補助機能]をクリックして下さい。

補助機能 終了

図 4.1.1 メイン画面 (初期設定後の画面です)

#### ① 「使用するファイル格納フォルダ」

データ格納フォルダ、コードマスタファイル格納フォルダの格納場所を表示します。  
(4.3 環境設定画面参照)

#### ② 「報告者基本情報」

設定されている報告者の基本情報を表示します。  
(4.4 基本情報設定画面参照)

③ 「ファイル作成対象年月日」

何年何月分の報告ファイルを作成するか設定します。

規定値として当日の日付の前月が表示されます。

④ 「記入年月日」

ファイルを作成する年月日を表示します。(現在の日付)

⑤ 「調査票(その1～その3)」

(1) 「新規作成」「修正・閲覧」

新しく報告ファイルを作成する場合は「新規作成」にチェックを入れます。既存の報告ファイルを基に作成する場合は「修正・閲覧」にチェックを入れます。

(2) 参照ファイル対象年月

(1)で「修正・閲覧」を選択した場合、何年何月分の報告ファイルを参照するかを指定します。

(3) 「表示」ボタン

(1)で「新規作成」を選択している場合は、入力項目が全て空白の状態ですべての調査票(その1～3)画面を表示します。

(1)で「修正・閲覧」を選択している場合は(2)で指定した報告ファイルの内容を調査票(その1～3)画面に表示します。

⑥ 「調査票(その4)」

(1) 「新規作成」「修正・閲覧」

新しく報告ファイルを作成する場合は「新規作成」にチェックを入れる。既存の報告ファイルを基に作成する場合は「修正・閲覧」にチェックを入れます。

(2) 参照ファイル対象年月

(1)で「修正・閲覧」を選択した場合、何年何月分の報告ファイルを参照するかを指定します。

(3) 「表示」ボタン

(1)で「新規作成」を選択している場合は、入力項目が全て空白の状態ですべての調査票(その4)画面を表示します。

(1)で「修正・閲覧」を選択している場合は(2)で指定した報告ファイルの内容を調査票(その4)画面に表示します。

⑦ 「補助機能」ボタン

クリックすると「補助機能」画面を表示します。

⑧ 「終了」ボタン

クリックすると「基幹統計報告データ入力プログラム」を終了します。

## 4.2 補助機能画面

「メイン」画面の「補助機能」ボタンをクリックすると「補助機能」画面が表示されます。

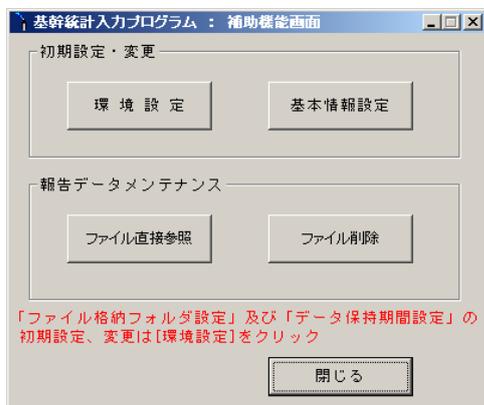


図 4.2.1 補助機能画面

### ① 「環境設定」ボタン

クリックすると「環境設定」画面を表示します。

### ② 「基本情報設定」ボタン

クリックすると「基本情報設定」画面を表示します。

### ③ 「ファイル直接参照」ボタン

ファイル名から調査ファイルを直接参照・編集する機能です。

- (1) 「ファイル直接参照」ボタンをクリックすると、「ファイルを開く」画面が表示されます。(環境設定でデータ格納フォルダに指定したフォルダ内のファイルが表示されます。)

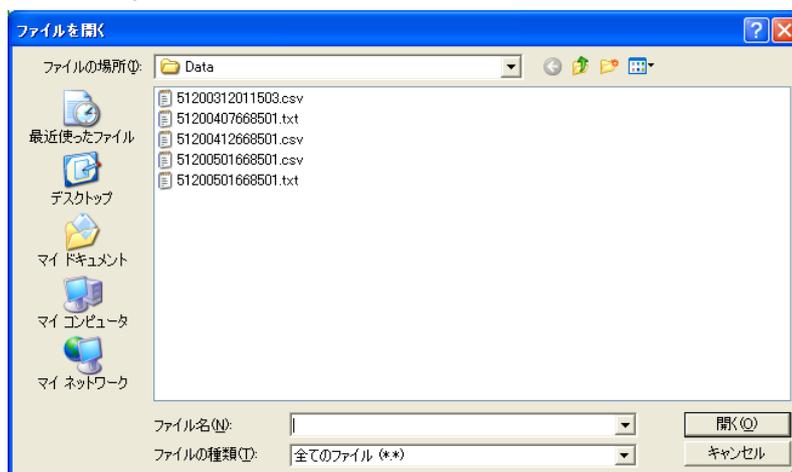


図 4.2.2 ファイルを開く画面

- (2) 参照したいファイルを選択して「開く」ボタンをクリックして下さい。
- (3) 選択したファイルの内容が「報告ファイル(その1～その3)」であれば「調査票(その1～3)入力」画面にファイルの内容が表示されます。  
選択したファイルの内容が「報告ファイル(その4)」であれば「調査票(その4)入力」画面にファイルの内容が表示されます。  
(どちらもとも一致しない場合は、メッセージを表示し補助機能画面に戻ります。)
- (4) 調査票の入力方法は「4.5 調査票入力画面」を参照してください。ただしファイルの保存方法が異なります。ファイルを保存する場合は「調査票入力」画面左上の「ファイル保存」をクリックしてください。  
「ファイルを名前を付けて保存」画面が表示されます。保存するファイル名を入力し「保存」ボタンを押してください。



図 4.2.3 ファイルを名前を付けて保存画面

④ 「ファイル削除」ボタン

過去に作成した調査票ファイルを削除する機能です。削除せずに保持しておく期間は「環境設定」画面の「データ保持期間」で設定します。

- (1) 「ファイル削除」ボタンをクリックします。
- (2) メッセージボックスに「yyyy年mm月(nnヶ月)以前の報告データを削除します。」と表示されます。

例：システム日付が2009年11月で、データ保持期間が12ヶ月の場合

2008年10月までのデータは保持し2008年9月以前のデータを削除します。



図 4.2.4 ファイル削除確認メッセージ

- (3) 「OK」を押すと示された期間のファイルが削除されます。「いいえ」を押すと処理を終了し「補助機能」画面に戻ります。

⑤ 「終了」ボタン

クリックすると「補助機能」画面を終了し、「メイン」画面を表示します。

### 4.3 環境設定画面

「補助機能」画面の「環境設定」ボタンをクリックすると「環境設定」画面が表示されます。

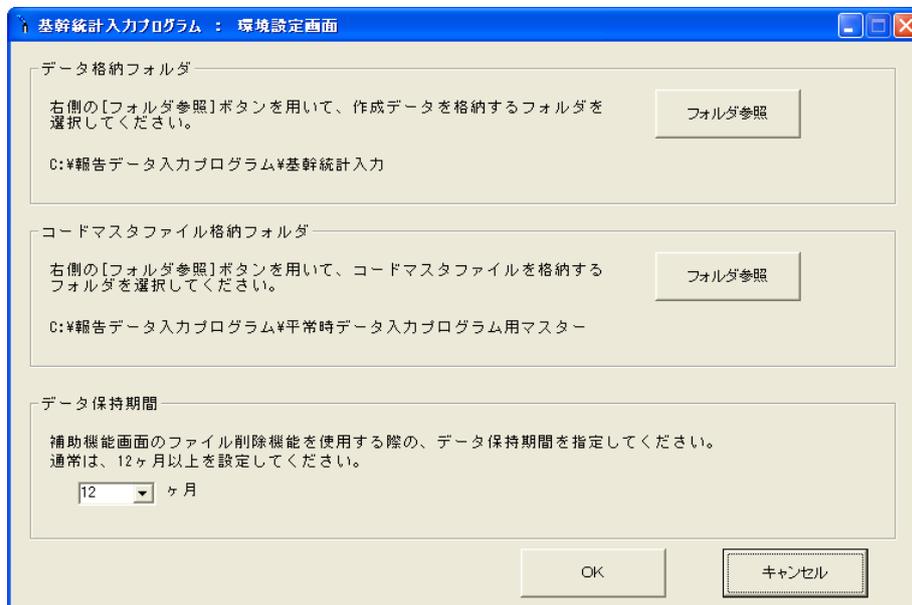


図 4.3.1 環境設定画面

#### ① データ格納フォルダ

データ格納フォルダとは経済産業省へ送信する報告データファイルを作成した際にそのファイルが保存されるフォルダのことです。

(1) 「フォルダ参照」ボタンをクリックすると「フォルダの参照」画面が表示されます。

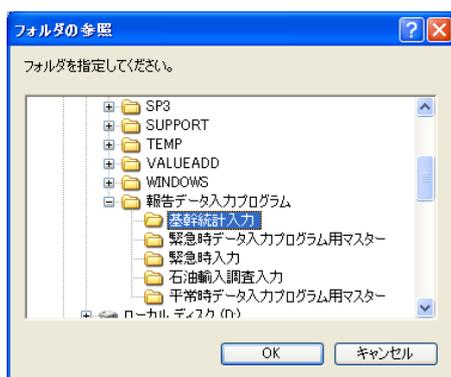


図 4.3.2 フォルダの参照画面

(2) 「フォルダの参照」画面で報告データファイルを保存したいフォルダを選択し、「OK」ボタンを押してください。「環境設定」画面のデータ格納フォルダに、選択したフォルダのフルパスが表示されます。

## ② コードマスタファイル格納フォルダ

「コードマスタファイル」とは次の9つのファイルを指します。

コードマスタファイルは石油情報報告に関する情報発信サイトよりダウンロードしてください。

- タンカー.csv
- 企業.csv
- 企業事業所.csv
- 供給者.csv
- 契約期間.csv
- 原油油種.csv
- 国地域.csv
- 積出港.csv
- 用船区分.csv

(1) 「フォルダ参照」ボタンをクリックすると「フォルダの参照」画面が表示されます。

(2) 「フォルダの参照」画面でコードマスタファイルを格納したフォルダを選択し、「OK」ボタンを押してください。「環境設定」画面の「コードマスタファイル格納フォルダ」に、選択したフォルダのフルパスが表示されます。

## ③ データ保持期間

「データ保持期間」とは「ファイル削除」機能を使用した際に削除せずに保持しておく期間です。初期設定は12ヶ月です。

(1) 「データ保持期間」の▼をクリックし表示される期間から選択してください。直接数値を入力することも可能です。

## ④ 「OK」ボタン

(1) 画面に入力した内容を設定に反映させる場合は「OK」ボタンをクリックしてください。

入力内容のチェックを行った後、設定ファイルに反映されます。入力内容に不都合が存在する場合は、メッセージが表示されます。メッセージにしたがって再度設定を行ってください。

## ⑤ 「キャンセル」ボタン

(1) 入力内容を反映せずに終了する場合は「キャンセル」ボタンをクリックしてください。「環境設定」画面を終了し「補助機能」画面に戻ります。

## 4.4 基本情報設定画面

入力するデータの情報およびユーザ個別の情報を設定します。ここで設定した情報を基に、プログラムは送信用ファイルのファイル名を自動的に付けるため、間違いのないように設定してください。

「補助機能」画面の「基本情報設定」ボタンをクリックすると「基本情報設定」画面が表示されます。

基本情報設定画面のスクリーンショット。画面には「本社情報」と「事業所情報」の2つのセクションがあり、それぞれに企業コード、企業名、郵便番号、住所、電話番号の入力欄があります。また、「企業名参照」と「事業所名参照」のボタンも表示されています。下部には「OK」と「キャンセル」のボタンがあり、赤い文字で「各項目を設定して下さい。\*印は必須項目です。」というメッセージが表示されています。

図 4.4.1 基本情報設定画面

### ① 本社情報 - 企業コード (入力必須)

#### (1) 直接入力

3桁の「企業コード」を入力します。対応する「企業名」が自動的に入力されます。

#### (2) 一覧から入力する。

「企業名参照」ボタンを押すと「企業マスタ参照」画面が表示されます。

リストから企業名を選択し、「OK」を押してください。「基本情報設定」画面に企業コード、企業名が設定されます。

### ② 本社情報 - 企業名 (入力必須)

企業名は企業コードを入力すると自動的に入力されます。変更する必要がある場合は、入力してください。(最大50文字)

- ③ **本社情報 - 郵便番号**  
本社所在地の郵便番号を入力します。(最大 8 文字)
  
- ④ **本社情報 - 住所**  
本社所在地の住所を入力します。(最大 40 文字)
  
- ⑤ **本社情報 - 電話番号**  
本社の電話番号を入力します。(最大 15 文字)
  
- ⑥ **事業所情報 - 事業所コード (入力必須)**  
事業所コードを入力します。
  - (1) 直接入力  
3桁の「事業所コード」を入力します。対応する事業所名、経済産業省事業所番号が自動的に入力されます。
  - (2) 一覧から入力する。  
「事業所参照」ボタンを押すと「事業所マスタ参照」画面が表示されます。  
リストから事業所名を選択し、「OK」ボタンを押してください。「基本情報設定」画面に事業所コード、事業所名、経済産業省事業所番号が設定されます。
  
- ⑦ **事業所情報 - 事業所名 (入力必須)**  
事業所名は事業所コードを入力すると自動的に入力されます。変更する必要がある場合は、入力してください。(最大 50 文字)
  
- ⑧ **事業所情報 - 郵便番号**  
事業所所在地の郵便番号を入力します。(最大 8 文字)
  
- ⑨ **事業所情報 - 住所**  
事業所所在地の住所を入力します。(最大 40 文字)
  
- ⑩ **事業所情報 - 電話番号**  
事業所の電話番号を入力します。(最大 15 文字)
  
- ⑪ **事業所情報 - 経済産業省事業所番号 (入力必須)**  
経済産業省事業所番号は事業所コードを入力すると自動的に入力されます。変更する必要がある場合は、入力してください。(10桁)

⑫ 事業所情報 - 申告義務者氏名

申告義務者名を入力します。(最大40文字)

⑬ 事業所情報 - 作成者所属部署名・氏名

作成者の所属する部署名、作成者の氏名を入力します。(最大40文字)

⑭ 「OK」ボタン

(1) 画面に入力した内容を設定に反映させる場合は「OK」ボタンをクリックしてください。

入力内容のチェックを行った後、設定ファイルに反映されます。入力内容に不都合が存在する場合は、メッセージが表示されます。メッセージにしたがって再度設定を行ってください。

⑮ 「キャンセル」ボタン

(1) 入力内容を反映せずに終了する場合は「キャンセル」ボタンをクリックしてください。「基本情報設定」画面を終了し「補助機能」画面に戻ります。

## 4.5 調査票入力画面

調査票入力画面での、データ入力方法について説明します。

調査票入力画面には、調査票（その1）・調査票（その2）・調査票（その3）・調査票その4）の計4画面あります。

項目	品目	番号	ガソリン	ナフサ	ジェット燃料油	灯油	軽油	重油		潤滑油	アスファルト	グリース	その他
			(KD) A	(KD) B	(KD) C	(KD) D	(KD) E	A 重油 (KD) F	B・C 重油 (KD) G	(KD) H	(T) I	(T) J	(T) K
月間受入力量	生産部門よりの受入	0101	777										
	輸入	0102											
	製造業者・輸入業者よりの購入・融通	0103											
	販売業者よりの購入	0104											
	品種振替による増量	0105											
	石油化学よりの増量	0106											
	その他の月間受入力量	0107											
月間払出量	消費者・販売業者向け販売	0108											
	製造業者・輸入業者への販売・融通	0109											
	輸出	0110											
	品種振替による減量	0111											
	自家消費	0112											
	その他の月間払出量	0113											
	月末在庫量	0114											

図 4.5.1 調査票(その1)入力画面

### ① 入力可能セル

各シートの調査票イメージの白いセルに、データを入力することができます。それ以外のセルには、入力できません。

### ② プログラム自動入力セル

薄い水色のセルは、プログラムが値を自動的にセットするセルです。ユーザが値を入力することはできません。例えば、調査票（その3）国別輸入の「国又は地域名」は、ユーザが「国コード等」入力列にコードを入力すると、対応する「国又は地域名」が自動的にセットされて表示されます。

### ③ コードの参照入力

調査票(その3)の国コード入力セル、調査票(その4)の油種コード入力セルはマウスの右ボタンをクリックすると、マスタ参照画面が表示されます。

#### ④ 「送信形式保存」ボタン

「送信形式保存」をクリックすると、入力データのエラーチェック、論値エラーチェックを行った後、経済産業省に送信する送信用ファイルを作成して保存します。保存先は、環境設定画面の「データ格納フォルダ」で指定したフォルダとなります。このときに行われるエラーチェックは、調査票の各行単位で、入力した項目が揃っていることのチェックです。（例えば、調査票（その 3）画面において、輸入量の数値が入力されているにも係らず、該当する国コードが入力されていない場合に、エラーとなります。）

エラーチェックでエラーが発見された場合、メッセージが表示され、送信用ファイルは作成されません。エラーを修正した後、再度「送信形式保存」をクリックしてください。

論理チェックでワーニングが発見された場合、メッセージが表示され、対象となるセルの背景色が黄色になります。メッセージの内容を確認し、そのまま保存しても構わない場合は「はい」を、データを修正する場合は「いいえ」をクリックしてください。論理エラーチェックについては「4.7 論理エラーチェックについて」をご覧ください。

送信用ファイルには、次の 2 種類あります。

##### (1) 調査票(その 1)～(その 3)ファイル

調査票(その 1)～(その 3)の情報が格納される、CSV 形式のファイルです。

ファイル名は次の規則で自動的に付与されます。

ファイル名：51yyyymmKKKJJJ.csv

(yyyy：報告年月の西暦年、mm：報告年月の月、KKK：企業コード、JJJ：事業所コード)

##### (2) 調査票(その 4)ファイル

調査票(その 4)の情報が格納される、CSV 形式のファイルです。

ファイル名は次の規則で自動的に付与されます。

ファイル名：51yyyymmKKKJJJ.txt

(yyyy：報告年月の西暦年、mm：報告年月の月、KKK：企業コード、JJJ：事業所コード)

⑤ 「調査票プレビュー」ボタン

「調査票プレビュー」をクリックすると、入力データのエラーチェック、論値エラーチェックを行った後、調査票と同様のイメージのプレビュー画面を表示します。なお、プレビューの対象となるのは、現在画面に表示されている帳票です。

1 ページにつき「調査票(その3)」の「3. 国別輸入」「5. 国別輸出」は10行、「調査票(その4)」の「6. 原油」は30行が表示されます。これらの行数を超える場合は2枚目以降に表示されます。

この機能を利用するには、プリンタの設定を予め行う必要があります。

⑥ 「調査表形式印刷」ボタン

「調査表形式印刷」をクリックすると、入力データのエラーチェック、論値エラーチェックを行った後、調査票と同様のイメージで印刷します。なお、印刷の対象となるのは、現在画面に表示されている帳票です。

この機能を利用するには、プリンタの設定を予め行う必要があります。

1 ページにつき「調査票(その3)」の「3. 国別輸入」「5. 国別輸出」は10行、「調査票(その4)」の「6. 原油」は30行が印刷されます。これらの行数を超える場合は2枚目以降に印刷されます。

この機能を利用するには、プリンタの設定を予め行う必要があります。

⑦ 「その1」ボタン(その2、その3画面のみ)

クリックすると調査票(その1)入力画面を表示します。

⑧ 「その2」ボタン(その1、その3画面のみ)

クリックすると調査票(その2)入力画面を表示します。

⑨ 「その3」ボタン(その1、その2画面のみ)

クリックすると調査票(その3)入力画面を表示します。

⑩ 「終了」ボタン

クリックすると調査票入力画面の処理を終了し、メイン画面に戻ります。

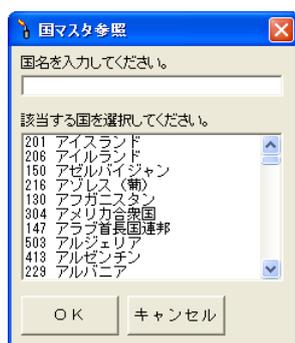
#### 4.6 マスタ参照画面について

各マスタ参照画面は「〇〇を入力してください」の欄に名称の先頭文字を入力すると先頭からの文字列が一致する名称がリストに表示されます。

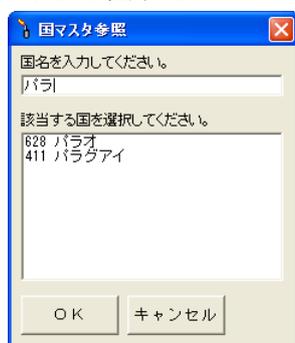
リストから名称を選択し「OK」ボタンをクリックすると呼び出し元の画面の対応する項目にコードがセットされます。

例：調査票(その3)で「パラグアイ」の国コードを参照入力する場合

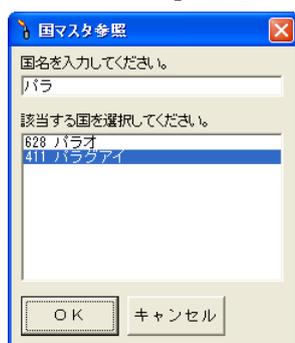
(1) 国マスタ参照画面を表示する。



(2) 「国名を入力してください。」の欄に「パラ」と入力すると、一覧に名称が「パラ」で始まる国名とそのコードのみが表示される。



(3) 「パラグアイ」を選択し「OK」ボタンを押す。



## 4.7 論理エラーチェックについて

論理エラーチェックの内容は以下の5つです。

これらのチェックでエラーが見つかった場合は、メッセージが出力され該当する項目の背景色が黄色で表示されます。

- ① 調査票(その1)の輸入の各項目は、調査票(その3)の3.国別輸入の合計の各項目と一致すること。

例) ガソリンの場合：Aのセルの値と、Bの列の合計値が一致すること。

基幹統計入力プログラム：調査票(その1)入力画面  
送信形式保存 調査票プレビュー 調査票形式印刷 その1 その2 その3 終了  
石油製品製造業者・輸入業者月報(その1) (平成22年12月 分)

1. 品目別受払 (注)「輸入」にはボンド輸入を含みません。ただし、「輸出」にはボンド輸出を含みます。

項目	品目	番号	ガソリン	ナフサ	ジェット燃料油	灯油	軽油	重油		潤滑油	アスファルト	グリース
			(K)	(K)	(K)	(K)	(K)	A (K)	B・C (K)	(K)	(K)	(K)
			A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
月間受入量	生産部門よりの受入	0101										
	輸入	0102										
	製造業者・輸入業者よりの購入・融通	0103										
	販売業者よりの購入	0104										
	品種別計による増量	0105										
	石油化学よりの増量	0106										
	その他の月間受入量	0107										
月間私出量	消費者・販売業者向販売	0108										
	製造業者・輸入業者への販売・融通	0109										
	輸出	0110										
	品種別計による減量	0111										
	自家消費	0112										
その他の月間私出量	0113											
月末在庫量	0114											

基幹統計入力プログラム：調査票(その3)入力画面  
送信形式保存 調査票プレビュー 調査票形式印刷 その1 その2 その3 終了  
石油製品製造業者・輸入業者月報(その3) (平成22年12月 分)

3. 国別輸入

品目	番号	ガソリン	ナフサ	ジェット燃料油	灯油	軽油	重油		潤滑油	アスファルト	グリース
		(K)	(K)	(K)	(K)	(K)	A (K)	B・C (K)	(K)	(K)	(K)
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
国又は地域名	コード	国コード等									
	3										
	3										
	3										
	3										
	3										
	3										
	3										
	3										

4. ボンド輸入 (注) ボンド輸入は、「1.品目別受払」の外数とし、月間受入量の「輸入」に含めません。(単位：k)

品目	番号	ガソリン	ジェット燃料油	灯油	軽油	重油	
コード		A	B	C	D	A (K)	B・C (K)
		F	G				
ボンド輸入	4 703						

5. 国別輸出 (注) ボンド輸出は、「1.品目別受払」の内数とし、月間私出量の「輸出」に含めて下さい。

品目	番号	ガソリン	ナフサ	ジェット燃料油	灯油	軽油	重油		潤滑油	アスファルト	グリース
		(K)	(K)	(K)	(K)	(K)	A (K)	B・C (K)	(K)	(K)	(K)
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
国又は地域名	コード	国コード等									
	5										
	5										
	5										
	5										
	5										
	5										
	5										
	5										

- ② 調査票(その1)の消費者・販売業者向販売のガソリン、ナフサ、潤滑油は、調査票(その2)の消費者・販売業者向販売のガソリン、ナフサ、潤滑油の2.品目別月間払出量の合計と一致すること。

例) ガソリンの場合：Aのセルの値とBで囲まれたセルの合計値が一致すること。

基幹統計入力プログラム：調査票(その1)入力画面  
 送信形式保存 調査票プレビュー 調査票形式印刷 その1 その2 終了  
 石油製品製造業者・輸入業者月報(その1) (平成22年12月 分)

1. 品目別受払 (注)「輸入」にはボンド輸入を含みません。ただし、「輸出」にはボンド輸出を含みます。

項目	品目	番号	ガソリン	ナフサ	ジェット燃料油	灯油	軽油	重油		混燃油	アスファルト	グリス	計
			(K0) A	(K0) B	(K0) C	(K0) D	(K0) E	A重油 (K0) F	B-C重油 (K0) G	(K0) H	(0) I	(0) J	
月間受入	生産部門よりの受入	0101											
	輸入	0102											
	製造業者・輸入業者よりの購入・融通	0103											
	販売業者よりの購入	0104											
	品種振替による増量	0105											
	石油化学よりの増量	0106											
	その他の月間受入量	0107											
月間払出	消費者・販売業者向販売	0108											
	製造業者・輸入業者への販売・融通	0109											
	輸出	0110											
	品種振替による減量	0111											
	自家消費	0112											
	その他の月間払出量	0113											
	月末在庫量	0114											

基幹統計入力プログラム：調査票(その2)入力画面  
 送信形式保存 調査票プレビュー 調査票形式印刷 その1 その3 終了  
 石油製品製造業者・輸入業者月報(その2) (平成22年12月 分)

2. 品目別月間払出量(燃料油等) (単位：K1)

品目	項目	番号	消費者・販売業者向払出量	月末在庫量	備考
			A	B	
ガソリン	自動車用高価ガソリン	0201			
	自動車用普通ガソリン	0202			
	その他用ガソリン	0203			
ナフサ	石油化学用ナフサ	0204			
	その他用ナフサ	0205			
潤滑油	ガソリンエンジン用潤滑油	0206			
	ディーゼルエンジン用潤滑油	0207			
	その他車両用潤滑油	0208			
潤滑油	船舶エンジン用潤滑油	0209			
油	軽油	0210			
	重油加工油	0211			
	電気送電油	0212			
	その他の特定用途向潤滑油	0213			
	その他の潤滑油	0214			

- ③ 調査票(その1)の月末在庫のガソリン、ナフサ、潤滑油は、調査票(その2)の月末在庫のガソリン、ナフサ、潤滑油の2.品目別月間払出量の合計と一致すること。

例) ガソリンの場合：Aのセルの値とBで囲まれたセルの合計値が一致すること。

基幹統計入力プログラム：調査票(その1)入力画面  
 送信形式保存 調査票プレビュー 調査票形式印刷 その1 その3 終了  
 石油製品製造業者・輸入業者月報(その1) (平成22年12月 分)

1. 品目別受払 (注)「輸入」にはボンド輸入を含みません。ただし、「輸出」にはボンド輸出を含みます。

項目	品目	番号	ガソリン	ナフサ	ジェット燃料油	灯油	軽油	重油		潤滑油	アスファルト	タール	備考
			(K0)	(K0)	(K0)	(K0)	(K0)	A (K0)	B-C (K0)	(K0)	(I)	(J)	
			A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	
月間受入量	生産部門よりの受入	0101											
	輸入	0102											
	製造業者・輸入業者よりの購入(除税)	0103											
	販売業者よりの購入	0104											
	品種毎額ごとの増量	0105											
	石油化学よりの増量	0106											
	その他の月間受入量	0107											
月間払出量	消費者・販売業者向除税	0108											
	製造業者・輸入業者への販売(除税)	0109											
	輸出	0110											
	品種毎額ごとの減量	0111											
	自家消費	0112											
月末在庫量	0113												
月末在庫量	0114												

基幹統計入力プログラム：調査票(その2)入力画面  
 送信形式保存 調査票プレビュー 調査票形式印刷 その1 その3 終了  
 石油製品製造業者・輸入業者月報(その2) (平成22年12月 分)

2. 品目別月間払出量(製剤油等) (単位：K1)

品目	項目	番号	消費者・販売業者向払出量		月末在庫量	備考
			A	B		
ガソリン	自動車用高純ガソリン	0201				
	自動車用低純ガソリン	0202				
	その他用ガソリン	0203				
ナフサ	石油化学用ナフサ	0204				
	その他用ナフサ	0205				
潤滑油	ガソリンエンジン用潤滑油	0206				
	ディーゼルエンジン用潤滑油	0207				
	その他車両用潤滑油	0208				
	船舶エンジン用潤滑油	0209				
油	軽油	0210				
	重油加工油	0211				
	電気送電油	0212				
	その他の特定用途用製剤油	0213				
	その他の製剤油	0214				

- ④ 調査票(その1)の輸出の各項目は、調査票(その3)の 5.国別輸出の合計の各項目と一致すること。

例) 灯油の場合：Aのセルの値と、Bの列の合計値が一致すること。

基幹統計入力プログラム：調査票(その1)入力画面  
送信形式保存 調査票プレビュー 調査票形式印刷 その1 その2 その3 終了  
石油製品製造業者・輸入業者月報(その1) (平成22年12月 分)

1. 品目別受払 (注)「輸入」にはボンド輸入を含みません。ただし、「輸出」にはボンド輸出を含みます。

項目	品目番号	品目	ガソリン	ナフサ	ジェット燃料油	灯油	軽油	重油		潤滑油	アスファルト	グリース	ナフ
			(K)	(K)	(K)	(K)	(K)	A (K)	B-C (K)	(K)	(I)	(I)	
			A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	
生産部門からの受入	0101												
月間受入量	輸入	0102											
	製造業者・輸入業者よりの積入受入	0103											
	販売業者よりの積入	0104											
	品種別積入による積入	0105											
	石油化学よりの積入	0106											
その他の月間受入量	0107												
月間私出量	消費者・販売業者向け売	0108											
	製造業者・輸入業者への販売・融通	0109											
	輸出	0110											
	品種別積出による積出	0111											
	自家消費	0112											
その他の月間私出量	0113												
月末在庫量	0114												

注: 灯油の輸出項目(0110)のセルは赤い円で囲まれ、その右側の列合計欄(B)に赤い矢印が伸びています。

基幹統計入力プログラム：調査票(その3)入力画面  
送信形式保存 調査票プレビュー 調査票形式印刷 その1 その2 終了  
石油製品製造業者・輸入業者月報(その3) (平成22年12月 分)

3. 国別輸入

品目	番号	品目	ガソリン	ナフサ	ジェット燃料油	灯油	軽油	重油		潤滑油	アスファルト	グリース
			(K)	(K)	(K)	(K)	(K)	A (K)	B-C (K)	(K)	(I)	(I)
国別地域名	コード	国コード等	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
	3											
	3											
	3											
	3											
	3											
	3											
	3											
	3											
	3											

注: 国別輸入の表は、灯油の輸出項目(0110)のセルと一致する値を入力する必要があります。

4. ボンド輸入 (注) ボンド輸入は、「1. 品目別受払」の外数とし、月間受入量の「輸入」に含めません。(単位: kL)

品目	番号	品目	ガソリン	ジェット燃料油	灯油	軽油	重油	
ボンド輸入	4	700	A	B	C	D	A (K)	B-C (K)

5. 国別輸出 (注) ボンド輸出は、「1. 品目別受払」の内数とし、月間私出量の「輸出」に含めて下さい。

品目	番号	品目	ガソリン	ナフサ	ジェット燃料油	灯油	軽油	重油		潤滑油	アスファルト	グリース
			(K)	(K)	(K)	(K)	(K)	A (K)	B-C (K)	(K)	(I)	(I)
国別地域名	コード	国コード等	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
	5											
	5											
	5											
	5											
	5											
	5											
	5											
	5											
	5											

注: 国別輸出の表は、灯油の輸出項目(0110)のセルと一致する値を入力する必要があります。

- ⑤ 調査票(その1)の品質振替による増量と品質振替による減量のガソリン～潤滑油の各合計が一致すること。

例) A で囲まれたセルの合計値と B で囲まれたセルの合計値が一致すること。

指定統計第51号入力プログラム : 調査票(その1)入力画面  
 送信形式保存 調査票プレビュー 調査票形式印刷 その2 その3 終了

石油製品製造業者・輸入業者月報 (その1) (平成16年12月 分)

1. 品目別受払 (注)「輸入」にはボンド輸入を含みません。ただし、「輸出」にはボンド輸出を含みます。

項目	品目 番号	ガソリン	ナフサ	ジェット 燃料油	灯油	軽油	重油		潤滑油	アスファルト	グリース	その他
		(KD)	(KD)	(KD)	(KD)	(KD)	A 重油	B・C 重油	(KD)	(t)	(t)	(t)
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
月間 受 入 量	生産部門よりの受入	0101										
	輸 入	0102										
	製造業者・輸入業者よりの 購入・融通	0103										
	販売業者よりの購入	0104										
	品質振替による増量	0105	A									
	石油化学よりの返還	0106										
	その他の月間受入力	0107										
月間 払 出 量	消費者・販売業者へ販売	0108										
	製造業者・輸入業者への 販売・融通	0109										
	輸 出	0110										
	品質振替による減量	0111	B									
	自 家 消 費	0112										
その他の月間払出力	0113											
月末在庫量	0114											

## 4.8 入力規約

表に値を入力する方法、編集する方法、削除する方法を説明します。

用語説明

- 表のカーソル

	A	B	C
1			
2			
3			

このセルを囲んでいる四角のことを指します。

- セルが編集状態

セルの中で縦棒状のカーソルが点滅している状態を指しています。

セルをマウスの左ボタンでダブルクリックするとこの状態になります。

	ガソリン	ナフサ	ジェット燃料
番号	(K) A	(K) B	(K) C
0101			
0102	1,000,000	0	
0103			

	ガソリン	ナフサ	ジェット燃料
番号	(K) A	(K) B	(K) C
0101			
0102	1,000,000	235,000	
0103			

### 値の入力方法

入力位置を指定する。

データを入力したい位置に表のカーソルを移動してください。表のカーソルはキーボードの方向キー（↑、↓、←、→）で移動するか、セルをマウスの左ボタンでクリックし移動します。

品目	番号	(K) A	(K) B	燃料油 (K) C
受入	0101			
入	0102			
業者より	0103			

値を入力する。

キーボードより値を入力して下さい。入力した値が指定したセルに表示されます。

品目	番号	(K) A	(K) B	燃料油 (K) C
受入	0101			
入	0102		123,000	
業者より	0103			

入力値を決定する。

入力した値を表に反映するには「Enter」キーを押してください。このとき表のカーソルは次の入力個所に移動します。

(このとき画面上に反映されるだけで送信形式ファイルには反映されません)

入力した値を表に反映させない場合は「Esc」キーを押してください。値を入力する前の状態に戻ります。

品目	番号	(K) A	(K) B	燃料油 (K) C
受入	0101			
入	0102		123,000	
業者より	0103			

### 入力された値を修正する

#### 入力位置を指定する。

データを入力したい位置に表のカーソルを移動してください。表のカーソルはキーボードの方向キー（↑、↓、←、→）で移動するか、セルをマウスの左ボタンでクリックし移動します。

品目	番号	(KD)	(KD)	燃料油
		A	B	C
受入	0101	10,000	22,000	5,000
入	0102	89,000	10,000	2,000

#### 値を修正する。

キーボードより値を入力します。以前の数値は上書きされ、入力した値が指定したセルに表示されます。

品目	番号	(KD)	(KD)	燃料油
		A	B	C
受入	0101	10,000	22,000	5,000
入	0102	90,000	10,000	2,000

#### 入力値を決定する。

入力した値を表に反映するには「Enter」キーを押してください。このとき表のカーソルは次の入力個所に移動します。

(このとき画面上に反映されるだけで送信形式ファイルには反映されません)

入力した値を表に反映させない場合は「Esc」キーを押してください。値を入力する前の状態に戻ります。

品目	番号	(KD)	(KD)	燃料油
		A	B	C
受入	0101	10,000	22,000	5,000
入	0102	90,000	10,000	2,000

入力された値の一部を修正する。

入力位置を指定する。

編集したいセルをマウスの左ボタンでダブルクリックします。セルが編集状態になります。

品目	番号	(K)	(K)	燃料油
		A	B	C
受入	0101	10,000	22,000	5,000
入	0102	90,000	10,000	2,000

値を修正する。

キーボードより値を修正します。

この時「Delete」キーを押すとセル内の値が全て削除されます。1文字ずつ削除するには「BackSpace」キーを使用して下さい。

品目	番号	(K)	(K)	燃料油
		A	B	C
受入	0101	10,000	224,000	5,000
入	0102	90,000	10,000	2,000

入力値を決定する。

入力した値を表に反映するには「Enter」キーを押してください。このとき表のカーソルは次の入力個所に移動します。

(このとき画面上に反映されるだけで送信形式ファイルには反映されません)

入力した値を表に反映させない場合は「Esc」キーを押してください。値を入力する前の状態に戻ります。

品目	番号	(K)	(K)	燃料油
		A	B	C
受入	0101	10,000	224,000	5,000
入	0102	90,000	10,000	2,000

入力された値を削除する。

削除位置を指定する

データを削除したい位置に表のカーソルを移動してください。表のカーソルはキーボードの方向キー（↑、↓、←、→）で移動するか、セルをマウスの左ボタンでクリックし移動します。

品目	番号	(K)	(K)	燃料油
		A	B	C
受入	0101	10,000	224,000	5,000
入	0102	90,000	10,000	2,000

値を削除する

「Delete」キーを押します。

品目	番号	(K)	(K)	燃料油
		A	B	C
受入	0101		224,000	5,000
入	0102	90,000	10,000	2,000